

ETK1223141A

| コネクタ品種                  | 対応ケーブル寸法 (mm) |                     |
|-------------------------|---------------|---------------------|
|                         | 縦寸法           | 横寸法                 |
| e-SC-SPC<SM>-025S-F-T-T | 1.5~2.2       | 2.4~3.3             |
| e-SC-SPC<SM>-025M-F-T-T |               | 1.8~2.15 or 2.4~3.3 |



## ⚠️ 安全にお使い頂くために

本製品は安全性を十分に考慮して設計しています。しかし、間違った使い方をすると、事故や製品の故障につながる恐れがあります。事故を防ぎ、安全にお使い頂くために次のことを必ずお守りください。

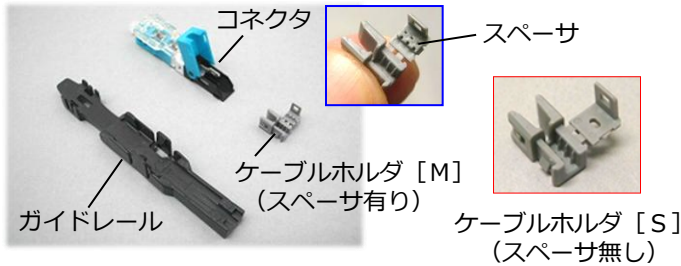
- ★光ファイバおよび光ファイバ屑は小さく、先端が鋭利です。指に刺す、目に入る、と怪我をする恐れがありますので、取り扱いには十分注意してください。作業中は **安全メガネを着用** してください。
- ★コネクタ端面や光ファイバ端面を **のぞき込まない** てください。強い通信光が出ている場合があり、目を傷つける恐れがあります。通信光は目には見えませんので十分注意してください。
- ★高所での作業の際には、組立工具を落とさぬ様にご注意ください。(リストストラップ等をご使用ください)

## ⚠️ 必ずお読みください

- ①組立方法を誤ると本来の性能が得られない場合があります。**本説明書をよくお読みになって**からご使用ください。
- ②本製品はチリ・ホコリが大敵です。コネクタはご使用の**直前に開封する**様お願いいたします。
- ③本製品は切断面により特性が大きく変わります。良好な切断特性を有するカッタを使用ください。
- ④コネクタへの**ファイバ挿入はゆっくり**と行ってください。乱雑に挿入した場合、ファイバが破損して工事不良につながる可能性があります。折れたファイバが飛散する恐れもあります。
- ⑤異物の混入による光損失増を防ぐため、ダストキャップはコネクタを**接続するまで外さない**でください。
- ⑥コネクタ内部には適量の屈折率整合剤を充填しております。コネクタへの**ファイバ挿入を2回以上行わない**でください。

## 構成品

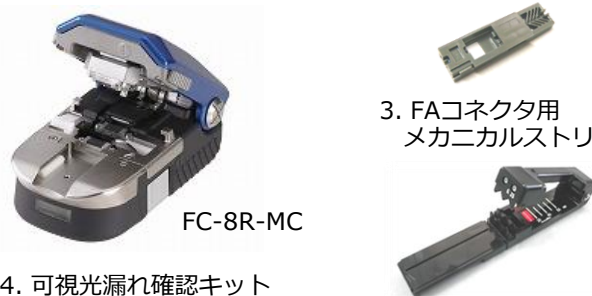
- ・コネクタ (クサビ組付) : 本体  
e-SC-SPC<SM>-025S-F-T-T (ケーブルホルダ[S])  
e-SC-SPC<SM>-025M-F-T-T (ケーブルホルダ[M])
- ・ケーブルホルダ : 本体構成部品
- ・ガイドレール : 添付治具(コネクタ10個に1個添付)



本コネクタの組立には、上記構成品の他に工具が必要となります。予めご準備下さい。

## 組立工具

1. ハンディ光ファイバカッタ
2. FAコネクタ用フォルダ



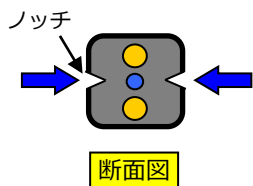
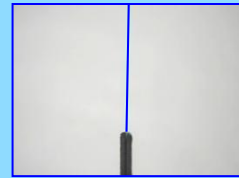
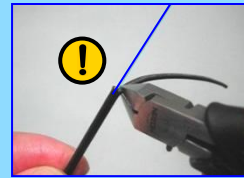
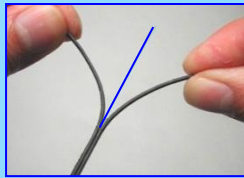
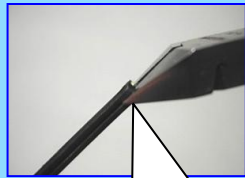
4. 可視光漏れ確認キット



(住友推奨可視光源使用)

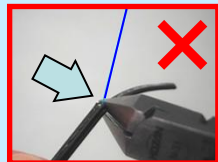
## ケーブル端末処理手順

- ①ケーブル先端に切れ目を入れる
- ②外被を引き裂く
- ③外被を切断する
- ④逆側の外被を切断する

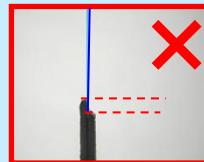


### ※ニツパで外被を切断する際の御注意点

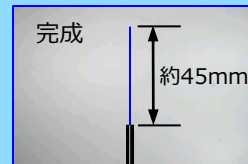
1. 心線を傷つけないようにしてください
2. ケーブルの切り口に段差をつけないようにしてください



断線させる恐れがあります



コネクタ取り付け後ケーブル把持力が弱くなる場合があります



【お問い合わせ先】 住友電気工業株式会社 光機器事業部

TEL (045) 853-7225 FAX (045) 851-1286

# e-SCコネクタをお使いのお客様へ

## ～ ファイバを挿入する前に ～

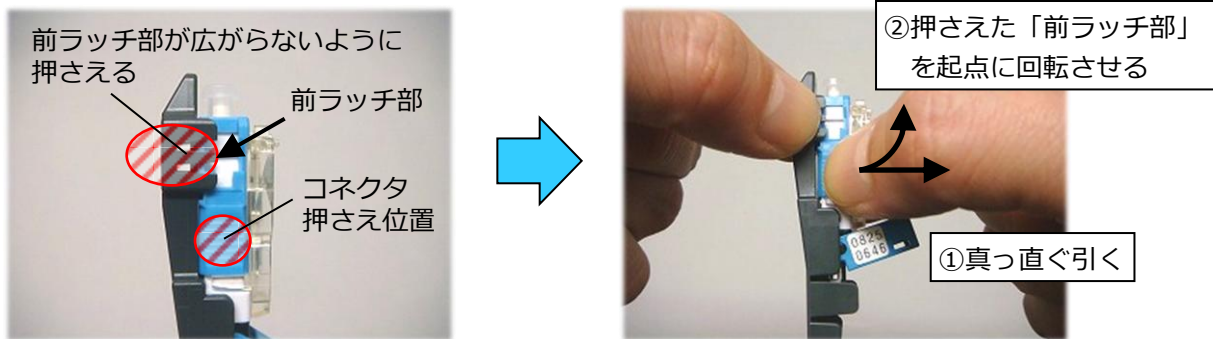
ファイバをコネクタへ挿入する前に、

- ・ガイドレールのコネクタを押さえるラッチ部に外傷・破損がないか
- ・ガイドレールにコネクタがしっかりセットされているか

をご確認ください。

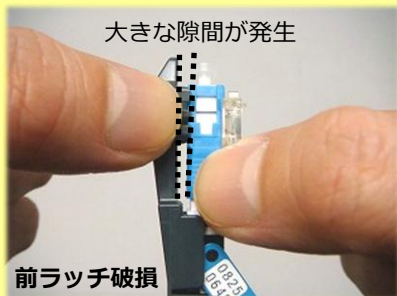
もし不具合が生じている場合、うまく組立てられない可能性があります。

### ■ ラッチ部の外傷・破損確認

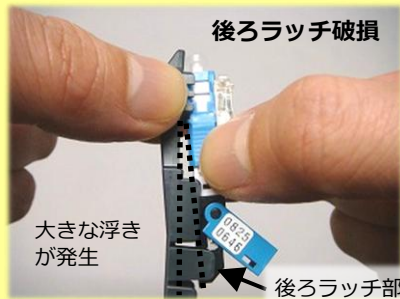


以下の場合、ガイドレールに不具合のある可能性があります

- ①前ラッチに引っ掛からず  
“大きな隙間”が発生した場合



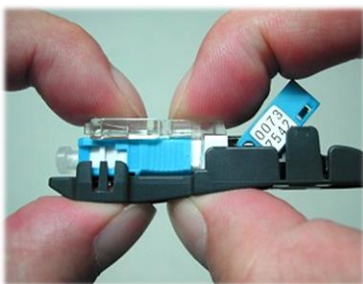
後ろラッチ破損



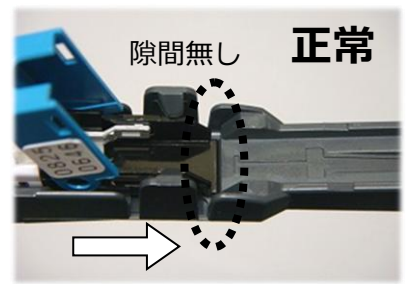
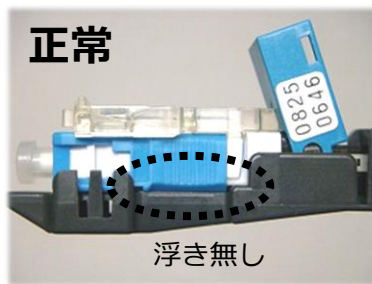
- ②後ろラッチに引っ掛からず  
“大きな浮き”が発生した場合

不具合のあるガイドレールは使用しないようにしてください

### ■ コネクタセット状態確認



- ①押し込んでコネクタの浮きをなくす

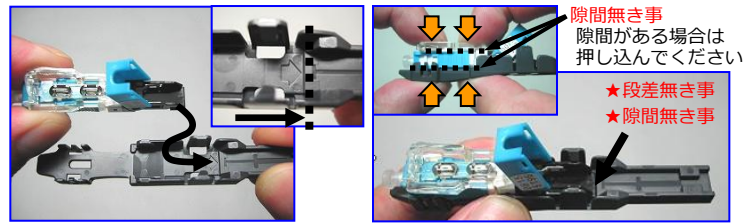


- ②コネクタ寄せて隙間をなくす

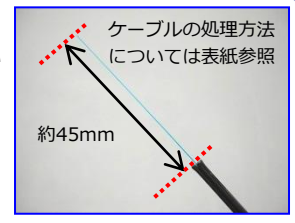
【1】インシュロック除去



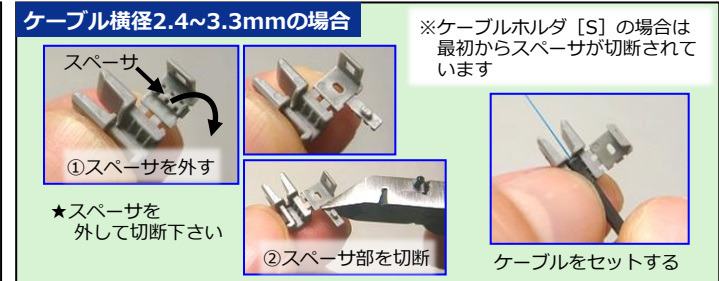
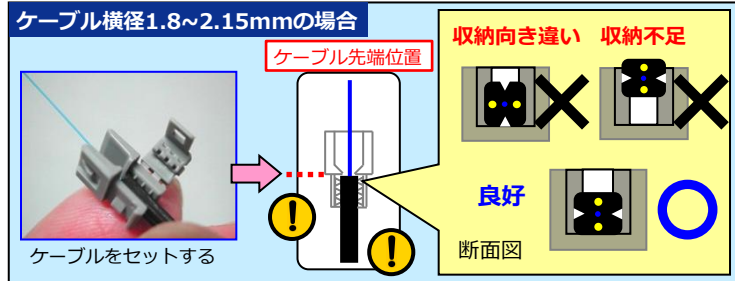
【2】コネクタをガイドレールにセット



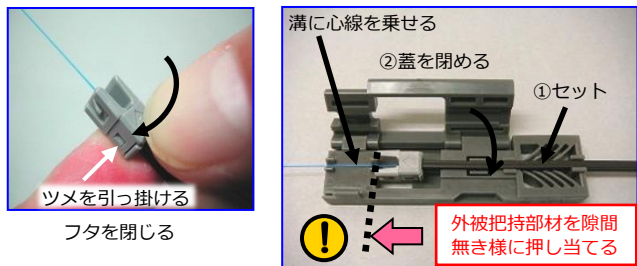
【3】ケーブル末端処理



【4】ケーブルホルダセット



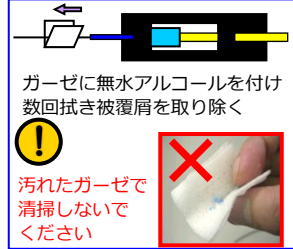
【5】FAフォルダにセット (重要)



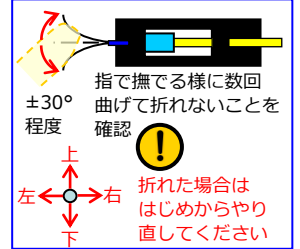
【6】心線外被除去



【7】ファイバ清掃



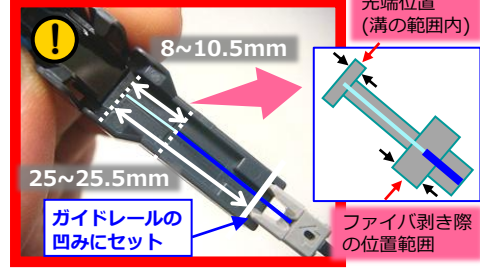
【8】スクリーニング



【9】ファイバカット

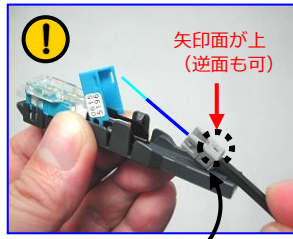


【10】カット寸法確認 (重要)

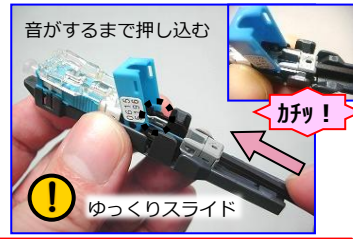


※当社製 FC-8R-MC使用の場合 外れる場合は [3] 項よりやり直してください

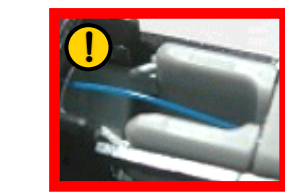
【11】ファイバ挿入①



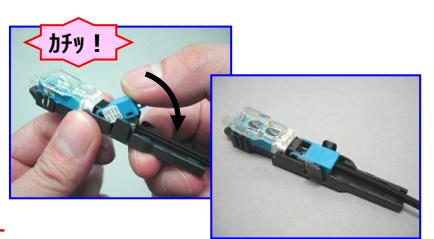
【12】ファイバ挿入②



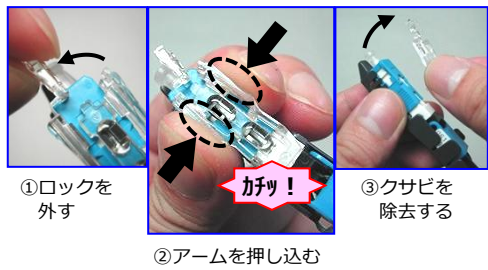
【13】ファイバたわみ確認 (重要)



【14】カバーを閉じる



【15】くさび抜去



【16】ガイドレール取り外し

